

第56回徳島県高校放送コンテスト
番組部門上映時間

No	作品名	よみがな	ジャンル	学校名	制作意図・作品概要
ラジオ部門					
1	Love yourself	らぶ あせせるふ	創作ラジオドラマ	城東高校	学生になって新しい人出会い、この世界のさやかのように性格に自信が持てない人や学校で自分に自信になれないという人はいらぬと思います。そんな人たちはもちろん、そうでない人も全ての人の性格はかけがえのないもので、人間にはみんな良い所があるから山があるように、それが個性だということを知っていただく作品を作りました。1人で多くの人がこの作品を見て、自分の性格、周りの人の性格を大事にしてみたいと思います。
2	フェイスチェンジ	ふえいすちえんじ	創作ラジオドラマ	徳島市立高校	他者から視線に敏感な高校生の特徴によって、自分の顔はもともとの対象である、特に新型コロナウイルス感染症の影響で、本来のマスクを着用する生活になっていることで、マスクを外した時の素顔に常に敏感になりがちである。音声が聞ければ人間性もよく聞かれるがあるが、はたして本当にその人であろうか、容姿・人間性は本当に顔でしかない、容姿もよその人の顔に自信を持ってよいというテーマを扱って制作しました。
3	かわいいものがすき	かわいいものがすき	創作ラジオドラマ	徳島市立高校	関西音楽でLGBT+の理解が深まりつつあります。では「かわいい」が好き男性、「かっこいい」が好き女性にはこれに当てはまるのでしょうか。昔ながらの考え方で「男の子は背、女の子は背」というものがあり、その様な固定概念から好きなもの好きと考えるよ心を願ってしまう。そんな悩みを抱える「僕」と書ながらの考え方を持った「僕」を通して、性別に関係なく好きなものを好きと伝える大切さを伝えてみたいと思います。この作品を制作しました。
4	川流れ	かわながれ	創作ラジオドラマ	徳島北高校	現代人の多くは、他人の目を気にして生きていまいと思われず、周りの人に馬鹿にされることを恐れて、自分の個性を必要以上に隠してしまうことでもあります。私自身も自分を隠してしまっことが多々あります。しかし、それは良いことでしょうか、あなたが次第に思うように、周りの人から見えれば素晴らしいことかもしれませんが、この作品を通して、自分の個性を大切に、ありのまま生きることの大切さを伝えてみたいと思います。
5	輪廻転生	りんねてんせい	創作ラジオドラマ	城北高校	真実の愛とは、存命のときよか、今、あなたが愛している人を来世でも愛せたいと願って愛します。また、大切な友達のために、自分の身を犠牲にすることができませんか、私たちにとって愛は、私たちが支え合う一つの原動力になります。もし輪廻転生の呪いにかかっていたら愛の形は変わって、まのだからかと思いつく私たちが愛する相手は神代ととに変化を重ねてきました。例えば、女子用のスラックスの開発や、近年の新型コロナウイルス感染症予防のためのマスクなど、高材の発明です。私たちの制覇は自ら、世に出して愛を多岐にわたります。制覇は私たちが生きた時代や時代そのものの象徴と考えるのではないのでしょうか、今の制覇の進化のあるあるを生かした思いを伝え、その変化を見てくれる人にも伝えるためにこの作品を制作しました。
6	今日も私は逃げたい	けふもわたしはにげたい	創作ラジオドラマ	城北高校	私たちが愛する相手は神代ととに変化を重ねてきました。例えば、女子用のスラックスの開発や、近年の新型コロナウイルス感染症予防のためのマスクなど、高材の発明です。私たちの制覇は自ら、世に出して愛を多岐にわたります。制覇は私たちが生きた時代や時代そのものの象徴と考えるのではないのでしょうか、今の制覇の進化のあるあるを生かした思いを伝え、その変化を見てくれる人にも伝えるためにこの作品を制作しました。
7	変わり続ける制服	かわりつづけるせいふく	ラジオドキュメント	徳島北高校	2018年に私が城北高校に新転校した。理数科学科、創部の理念は「地方に貢献する人材の育成」というものです。普通科の生徒からは取っつきにくいと思われているようですが、実は明るく、空気感いいとしたラズです。また、仲間とともに奮えるという思いに携った課題研究に前向きに取り組んでいます。生徒たちや理数科学科の未来を伝えたいと思いつくこの作品を制作しました。
8	理数の翼	りすうのつばさ	ラジオドキュメント	城北高校	2018年に私が城北高校に新転校した。理数科学科、創部の理念は「地方に貢献する人材の育成」というものです。普通科の生徒からは取っつきにくいと思われているようですが、実は明るく、空気感いいとしたラズです。また、仲間とともに奮えるという思いに携った課題研究に前向きに取り組んでいます。生徒たちや理数科学科の未来を伝えたいと思いつくこの作品を制作しました。
テレビ部門					
1	強く歩み続ける	つよくあゆみつづける	テレビドキュメント	城東高校	私たちは、普通科向きの学校に通っているが、学校の授業に心を持ってやる生徒はそんな人にもいないと思ってる。しかし、ある日、私は先生が授業中、学校の壁の一面がペンを描いていくことに気づいた。なぜ、筆が赤と青の両方にあるのか気になり「ペンへう」と思った。また、ペンを引くときの音が面白く、それを聞いて、自分もペンを引いていくの作品を作りたいと思い、この作品を作った。
2	早期補習、必要ですか？	せうけいほつじゅ、ひつようですか？	テレビドキュメント	徳島市立高校	なかなか早期補習に参加している中、遅刻者や欠席者が増え、最終的には半数以上の生徒が補習の開始時刻に遅刻していないという現状と高校が早期補習を止めないという様子を見て、本当に早期補習は必要なのか疑問に思える意見を確かめるためにこの作品を制作した。
3	コロナの時代に外国で学ぶ	このちの時代にわが国で学ぶ	テレビドキュメント	徳島北高校	国内で唯一国際資格がある徳島北高校は国際交流が盛んで、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により海外への行き来が難しくなり、留学生を迎えたり、海外研修へ行ったとしても延期または中止となってしまいました。昨年の冬から今月、コロナ禍で入国できなかった人の留学生や生徒・先生への取材を通して、どんなに良い状況でもチャレンジすることの大切さを伝えようと思い、番組を制作しました。
4	防災最前線	ぼうさいさいぜんせん	テレビドキュメント	城北高校	地震災害日本で、ここ何十年にわたって「防災」しかし実際は、自事意識が薄かったり、増える可能性があることと実際に考え続けることが難しくなったりしている現状が存在する。それを伝えるべく「防災フェス2021」の自らの行動の取組に取材するつもりで、徳島県庁を中心に積極的に取材を行っている。日々の生活の中で災害に備える方法、私たち高校生ができる備えについて伝えたいと思いつくこの作品を制作しました。
5	心に絆創膏を	こころにばんそうこうを	創作テレビドラマ	徳島市立高校	人それぞれ心のうちに持っているであろう、「愛」となる存在。「れがあるから生きていける」「自分の好きな人なんだ」と、そう思えるものの有無は、人生を大きく左右します。しかし、もしそれが失われてしまったら？過剰に傷は癒えず、多くの人の心は簡単に折れてしまつたよう。本作は、そんな「折れそうなのに傷を当て、どうやって癒やそうか」の、その方法を考えようと思いつくこの作品を制作しました。
6	NARCISISS	なるしっさず	創作テレビドラマ	徳島北高校	性的少数者への認識や知識、配慮が広がってきた現在ですが、「差別」も身近に感じて生きていく人はあまり多くには見えません。どこか悪い特別性存在に思ってしまったら、そう思う態度が態度でありました。しかし、「特別」でも「運」でもなく、すぐそこにある「だいたい」ことを恐れないでほしい。そんな思いにこの番組を制作しました。別題名であるNARCISISSは水仙という意味で、花言葉は「輪れぬ恋」ということから書けました。

※予選通過作品を上映